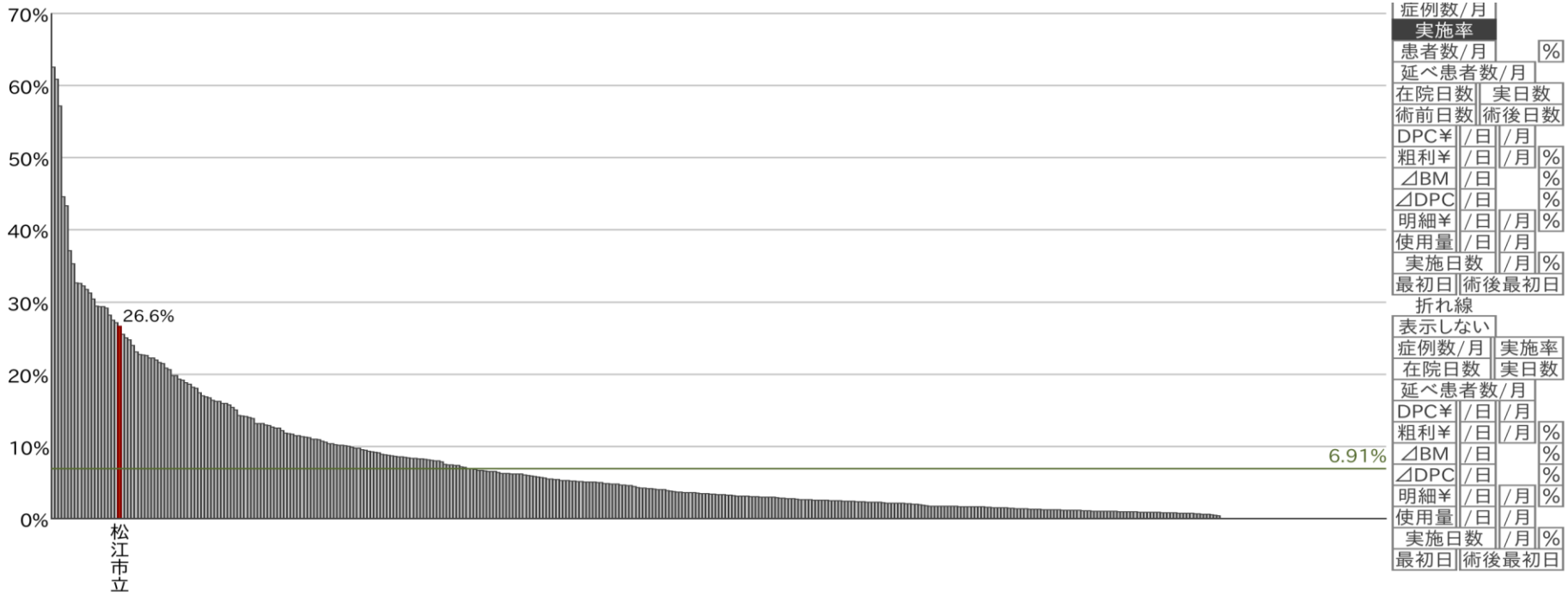
13_誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコピーあるいは嚥下造影検査の実施率

意義：誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされる。咽頭ファイバースコピーや嚥下造影検査によって患者の嚥下機能を評価し、適切なアプローチ(治療、摂食・嚥下訓練、リハビリテーション、音声訓練など)につなげることができる。

定義の要約：

	2020年度実績	
分子）分母のうち「D299喉頭ファイバースコピー」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数	42人	
分母）誤嚥性肺炎患者数	158人	26.6%

（girasol　全国平均値　6.91% ）



DPC分析システム　girasol より